

部専制を叫んで退場したのである。以つて彼等の運動精神  
 が鏡はれるのである。之れに對し我等が特に大会を休憩して無條件退歸を勸告  
 したと彼等が之を拒人だとして、而して無根なる事柄を専  
 手立てて、声明書を散布したと、等は討罵のよく知らるゝ  
 處である。彼等は自らの失敗を掩人として遂に自らを捕縛した。即  
 ち除名せらるべき振運と其水止むなき議論を自ら創造  
 したのである。彼等は再び虚言を執用して声明し、或は純  
 真なる地方組合に向つて、監査權を試み、愈々同盟内部を腐敗に  
 落し水ようとなつた。之れより寛容を以て事に當らんとした同盟會多數派が、遂  
 に彼等との共同戦線は不可能にして、又今日の労働組合運  
 動を發展し得ざる事を感じ斷乎たる處置に入るにせしむと

決意せる處である。十月十七日関東露勞働組合、日本縫工組合等十一の連  
 名を以て決意の声明をなすこととなり、越えて十一月第二回  
 理事會に於て其の主謀者たるべき六名の個人的除名を決議す  
 るに至つた。斯くして彼等の反省をうながした。

採決票數	除名賛成	十三票
	除名反対	五票

以上の経過中には勿論同盟中央委員會に一度本問題解  
 決を提出したののであるが、同盟全体の意志と甚だしく隔離  
 し、却つて日時を遅延し不充分なる決裁とは好結果を有す  
 べきでないと考え、一切同盟に於て處理したる上に中央委  
 員會の判定を得人と決意し、右の結論をしたのである。

十二月十日第三回理事會は、其の後彼等の奮動と悪辣な